

十勝の野菜満載

居酒屋などを多店舗展開するエイムカンパニー（帯広市、佐藤慎吾社長）は22日、全国で話題になっている「ドライブスルー八百屋」を、30日から十勝地区で始めると発表した。自社で取引している十勝管内の農家が生産した野菜などを積めたセットを車から降りずに買えるようにする。

新型コロナウイルス感染防止の観点から人との接触を極力抑えようと、外食店向け青果卸のフードサプライ（東京）が4月から始めたサービス。福岡や名古屋などにも広がり、道内では札幌でも始まった。

帯広はエイムカンパニーのグループ会社「一心商店」（帯広市、飯塚忠志社長）が、フードサプラ

ドライブスルー八百屋

イと連携・協力する形で行う。エイムーでは新型コロナウイルスの影響で既存店の売り上げが半分ほどに落ちており、売り上げ増強を図るのが狙い。

野菜や米、卵、牛乳など21品が入った「もったいない野菜セット」5000円と、米を除いたセット3500円を販売。同社は元来、十勝産食材の活用を力を入れ、独自に生産者を開拓しており、セット品は果物と米以外は十勝産とする考え。

9月までの火、金曜の午前10時から数量限定で行う計画。受け渡し場所は、同社が借り受けた市内西8南14の空き店舗。専用サイト（<http://www.foodsupply.co.jp/drive thorough/>）から予約するつもり。（佐藤いづみ）

エイムカンパニー

月末開始